

相島波止(あいのしまはと)

福岡県・新宮町



相島で現在も使用されているこの防波堤は、西暦1682年に朝鮮通信使を迎えるために福岡藩が島民を使って、約2箇月間で造り上げたもの。

当時、この工事には島民が延べ3850人従事したので、毎日60人以上の人たちが働いた計算になり、島民の汗の結晶で築かれた波止場といえる。

現在の第22号防波堤は、当時、前波止と呼ばれ今では当時の面影は僅かに残っている程度だが、第4号防波堤は先波止と呼ばれ、今でも当時の形がはっきりと残っており、建設当時の苦勞をうかがうことができる。

TOPICS

- ・恵比寿祭り 毎年1月10日 開催
- ・特産品：あじ、いか、ふぐ、サザエ、アワビ

お問い合わせ先

新宮町役場 都市整備課
TEL / 092-963-1735

【交通】

バス / JR筑前新宮駅からコミュニティバス マリンクス号で20分
相島渡船場下車
船 / 町営渡船 新宮～相島約17分

